

「自然・環境フォーラム」実施しました

●第1弾（里山編）

日時：平成23年7月10日（日） 午前9時30分～午後1時

場所：県立明石清水高等学校 同窓会館大講義室（ほか金ヶ崎公園）

参加者：39名（スタッフ含む）

講義：①生物多様性あかし戦略と里山について（講義 70分）

講師 兵庫県立大学教授 服部 保 氏

②金ヶ崎公園での取り組みについて（金ヶ崎公園への移動及び講義 90分）

講師 兵庫県立大学助教 黒田 有寿茂 氏



講義の様子



金ヶ崎公園へ向かう道中



金ヶ崎公園での観察



●第2弾（ため池・水路・川編）

日 時：平成23年7月24日（日） 午前9時30分～午後1時

場 所：県立明石清水高等学校 同窓会館大講義室（ほか野外観察）

参加者：31名（スタッフ含む）

講 義：①明石、魚住の水でつながる自然（講義 40分）

講師 明石ため池研究会 森本 眞一 氏

②ため池の文化、今の取り組みについて（講義 20分）

講師 いなみ野ため池ミュージアム運営協議会 三輪 顕 氏

③野外観察（新池～西国街道～瀬戸川～魚住浄水場～JR 魚住駅）



講義の様子

新池での観察



瀬戸川での観察



西国街道での観察



浄水場からの風景



庄内水路の様子

7月10日、24日と2回にわたり「自然・環境フォーラム」を開催しました。暑い中でしたが、家族連れの小学生から高校生（清水高校・明石商業高校）、一般の方まで、幅広い年齢層の方に参加者いただき賑わいました。

フォーラムの趣旨は、明石、魚住にある里山やため池、水路、川、それらを支えるいなみ野台地について知っていただき、明石の貴重な自然について関心を持ってもらうことです。

当日は、まず事前講義として講師の先生よりお話を聞き、その後実際に観察をしていただくというもので、何げない日常の景色の中に、新しい発見をしていただいたのではないかと思います。

主催：エコウイングあかし

共催：明石市地球環境課、農水産課、緑化公園課、

県立明石清水高校、うおずみん・ふるさと創生プロジェクト、

いなみ野ため池ミュージアム運営協議会

協力：明石市水道部浄水課（魚住浄水場）